



日本共産党  
北茨城市委員会  
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行

市議団  
ニュース

ご相談は  
お気軽に

市議会議員  
福田 明  
43-0468

市議会議員  
鈴木やす子  
42-2462

# 地元を知り、先進に学ぶ街おこし

## 産業委員会・行政視察報告

市議会の産業委員会5名  
では7月2、4日、行政視察をおこないました。視察先は、京都府舞鶴市、宮津市、そして石川県金沢市でした。鈴木やす子議員のレポートです。

まず訪ねたのは、京都府舞鶴市の農業公園「舞鶴ふるるファーム」。地元の農家が設立した株式会社が運営しています。

### 舞鶴市の農業公園

立ち上げにあたっては、全国的に有名な三重県の手づくりファームのプロデュースを受けたり、特産のユズで村おこしをした馬路村との連携をとるなど、「先進事例から学ぶことと、先進事例と考え方が変わりました」と社長さん。

たくさん楽しい工夫があつて、滞在型の市民農園17棟は満員で、待機者もいます。地産地消にこだわったビュッフェ形式のレストラン

ランは、子ども連れの女性客を集めています。開設3年目で、すでに黒字の予想とのことでした。

### 天橋立プラスワン

京都府の宮津市は、天橋立で有名です。ただし観光客の滞在時間が短く、消費販売も多くありません。その伸張をめざすのが、「天の橋立プラスワン事業」です。京阪神からの高速道路が開通しましたが、市内ではエコツーリズムをすすめて、歩いての散策を促しています。また、新しい特産物として開発した「特大とりがい」のブランド化などにも

取り組んでいます。

自然景観とならんで、歴史的建造物や町並み、そして歴史の再認識を、食や健康・環境と結びつけようとして、推進協議会を立ち上げました。シンポジウムをはじめ、これまで十数回の研修講座に毎回数十人を超える市民が参加し、担当者も驚きの言葉をあげていました。

### 金沢21世紀美術館

石川県の金沢市では、十数年前、中心部から県庁や学校などの移転が続きました。にぎわいを取り戻すという命題のもと数年間の議論を経て、文化の街にふさわしい施設、また市民参加を理念としてつくられたのが「21世紀美術館」です。館内は、20を超えて仕切られていく部屋が、主に企画展を催す有料ゾーンと、自由に出入りできる無料ゾーンとに分かれています。美術館の周囲も公園として整備され、市民が気軽に寄れる場となっています。

現代美術の先端をいく施設として評判を呼び、3年間で500万人の来館者を迎えました。そのうち6割は県外からの観光客です。入場券の半券を示して地

# 茨城県母親大会

7月6日、古河市で茨城県母親大会が開かれました。毎日の暮らしに密着した福祉、医療、年金、食、教育など、多岐



にわたるテーマごとの分科会がありました。午後からは全体会で、香山リカ氏「ストレス社会でじぶんらしく生きる」と題して講演。

また、茨城県医師会の原中会長が来賓あいさつをおこないました。後期高齢者医療制度が皆保険の理念を崩すことや家族制度も壊しかねないこと、諸々の点を指摘し、医師会として反対運動に取り組んでいる事が話されました。母親大会実行委員会からは、取り組んだ反対署名の束が手渡されました。

元商店街で買い物をする割引があり、買い物をするに、美術館への入館が割引になるといったタイアップも実施しています。

特筆したいのは、美術館として市内の小学4年生全員を招待していること。美術館を支える多くのボランティアも協力し、街ぐるみで次の世代に文化・芸術を伝えようとしています。

総じて今回の視察では、地元への愛着と誇りを市民自身がどう掘り起こし、地域活性化につなげていくかという点で多くの示唆があ



りました。地元を歩き、歴史を知って自分たちの街の良さを見つける。あわせて先進地から学ぶ。この当たり前ともいえる大切さを改めて感じたいです。行政として、どういう仕掛けができるのか、今後も追究していきたいと思えます。



## いきいき健康体操

7月13日、市民体育館で「健康いきいき体操教室」が開催されました。講師は、元大洋村村長の石津政雄氏。スポーツ予防医学を駆使して村民の健康づくりを展開した実践が話されました。会場を埋めた500人を超える参加者は、専門的なテーマながら分かりやすく、時に笑いを誘うお話ぶりに耳を傾けていました。